

森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会発表概要

① 活動報告課題名

サントリー水育「森と水の学校」

② 発表団体名

サントリーホールディングス株式会社 エコ戦略部

③ 発表概要

1. サントリーグループの環境経営
2. 次世代環境教育「水育(みずいく)」
3. 水育「森と水の学校」奥大山校
 - ・フィールド
 - ・プログラム内容
 - ・運営面
4. 活動の成果、今後に向けて

1. サントリーグループの環境経営

サントリーグループは「人と自然と響きあう」を企業理念に定め、自然の大きな営みに対する敬意と感謝のもと環境経営を推進しております。お客様にお届けする製品には、自然が育んだ良質な地下水である「天然水」が不可欠で、私たちはその生命線である良質な地下水を守るために、50年後100年後を見据えて工場の水源エリアの森を守り育てる水源涵養活動「天然水の森」活動を行っています。

長期的に「自然との共生」に取り組んでおり、その想いを、次代を担う子どもたちと共有したく、体験を重視した独自の次世代環境教育プログラム「水育(みずいく)」を展開しています。

2. サントリー次世代環境教育「水育」

「水育」は、子どもたちが、自然のすばらしさを感じ、水や、水を育む森の大切さに気づき、未来に水を引き継ぐために何ができるのかを考える、次世代に向けたプログラムです。「森と水の学校」と「出張授業」のふたつを中心に活動をしています。

2014年、活動開始から12年目を迎え、参加者が10万人を越えました。

3. 水育「森と水の学校」奥大山校

水育活動のひとつ「森と水の学校」は、小学校3～6年生とその保護者を対象に「サントリー天然水」のふるさと(白州・奥大山・阿蘇)で行う自然体験プログラムです。鳥取県日野郡江府町のサントリー「天然水の森 奥大山」で行われる「森と水の学校」奥大山校は、豊かな森

の冒険、森の奥の清流での体験を通して、自然の素晴らしさ、水の大切さや、水を育むや森や自然の大切さ体感します。また森の中での実験では、自然のしくみをわかりやすく学び、「サントリー天然水 奥大山ブナの森工場」では、自然に育まれた天然水が製品になるまでを学びます。

「森と水の学校」は、未来に水を引き継ぐために何ができるのかを考えるきっかけとなる自然体験プログラムです。

4. 活動の成果と今後に向けて

2008年に開校した「森と水の学校」奥大山校には、鳥取県だけでなく、周辺の岡山県、島根県、広島県や京阪神などから、これまでに3千人を超える親子の方々に参加いただいています。

親子で一緒に体験することで、新たな発見や喜びが広がり、また一緒に語ることで家庭でのコミュニケーションが強化され、体験活動の思い出がより一層定着されていきます。保護者の方々も、子どもの付き添いのつもりが、自らも新たな発見と驚きを感じていただく場面が多く、予想以上の反応が見うけられます。

今後も一人でも多くの方に体験活動の場を提供できるよう、地元のパートナーの皆様と一緒に、活動の充実に努めてまいります。